

発電所内のモニタリング状況等について (1～3号機放水路の調査状況等について)

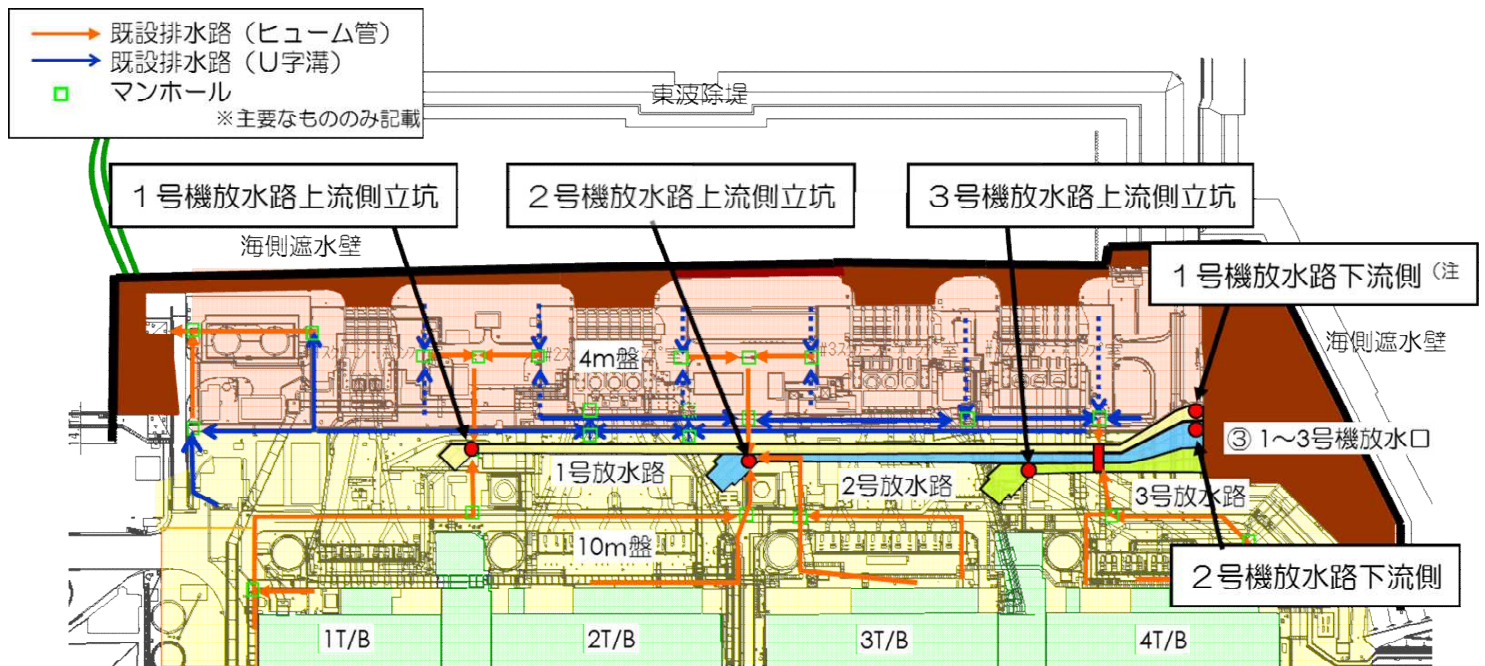
2016年2月25日
東京電力株式会社



無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

1

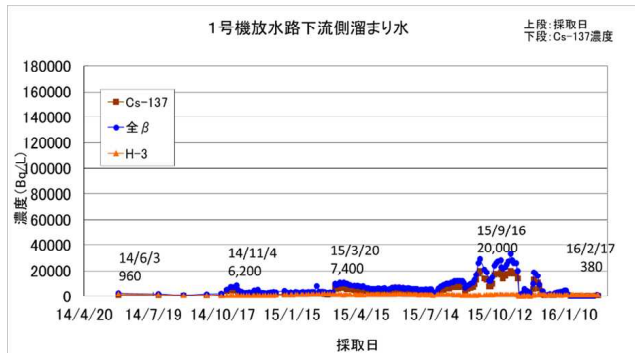
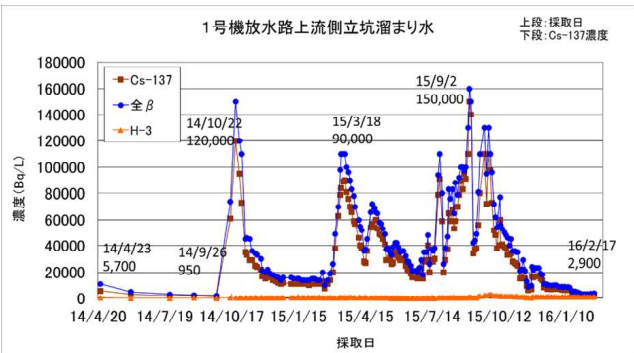
1～3号機放水路及びサンプリング位置図(平面図)



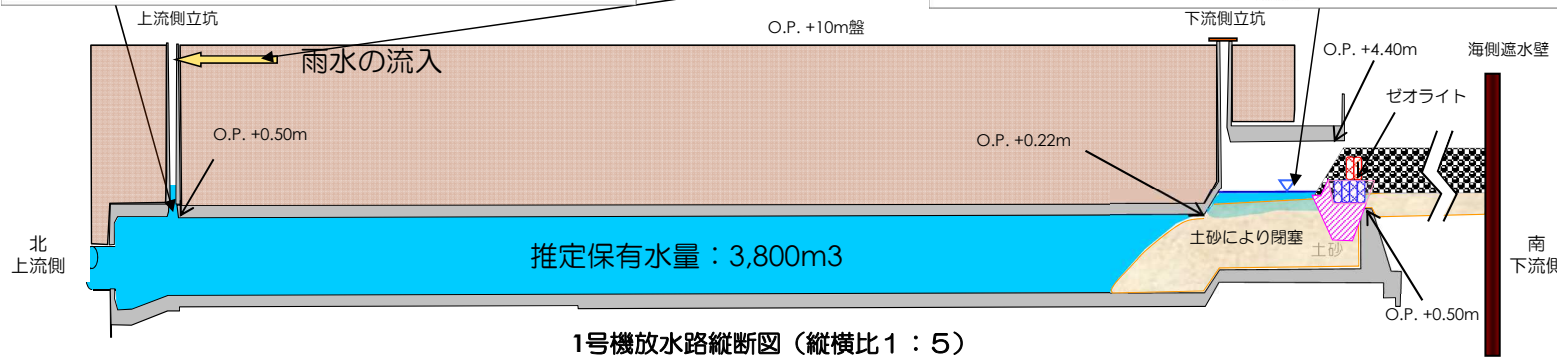
注: ゼオライト土のう設置(2月)以降、放水口から下流側立坑へのアクセス不可のため、放水口上部より採水

1号機放水路サンプリング結果

- 2015年11月27日より、放水路浄化装置（モバイル式処理装置）による浄化運転を開始。先月以降、1号機放水路上流側立坑溜まり水のセシウム137濃度は1万Bq/Lを下回り、現在は3000Bq/L以下。
- 放水路下流側溜まり水のセシウム137濃度も低下し、現在は1000Bq/L未満。
- 引き続き、効果を確認していく。



1号機上流側立坑流入水
(1号T/Bビル下)
・T/B東側地表
調査日：14/10/6
Cs134：420
Cs137：1500
全β：1400
H3：9.9
(単位：Bq/L)



1号機放水路縦断面図（縦横比1：5）

注：放水口へのゼオライト設置により、放水口内への立ち入りができなくなったことから、2015/3/20より放水口上部開口部から採水することとした。

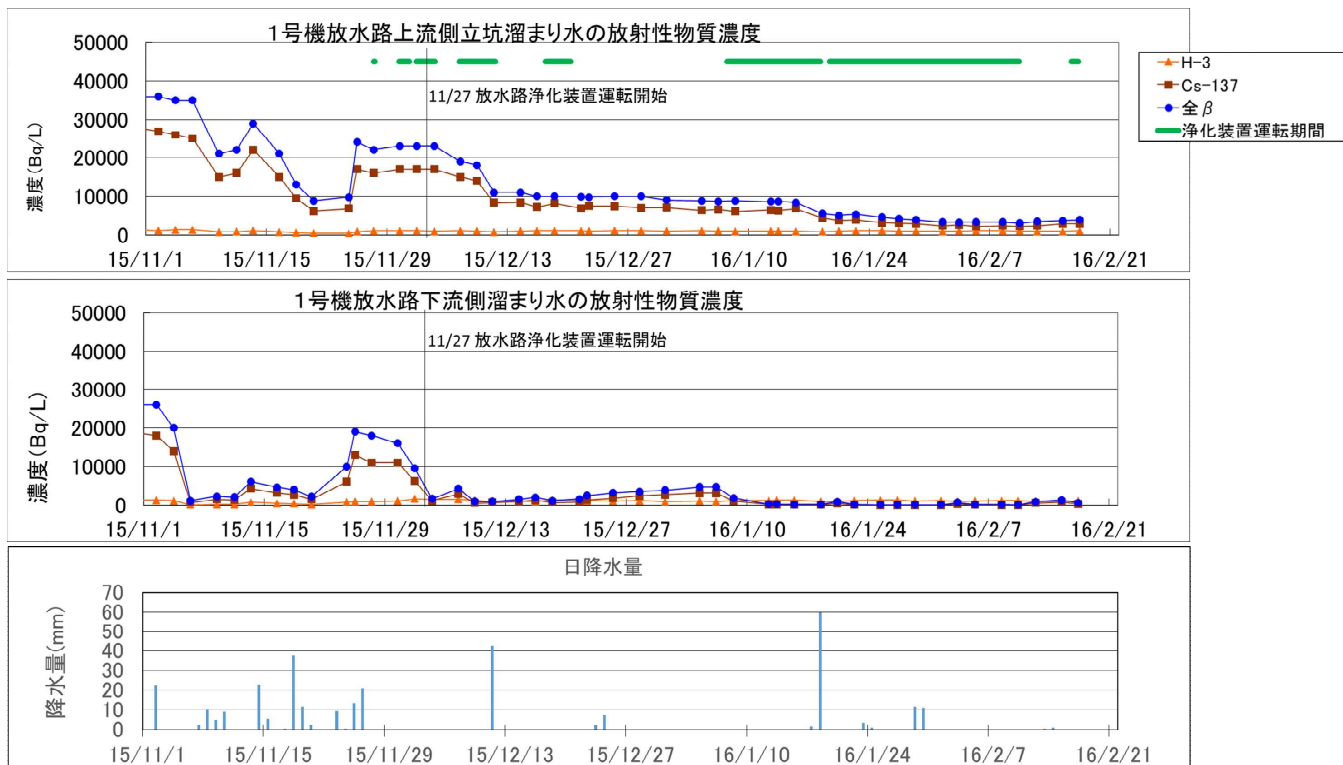


東京電力

無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

1号機放水路浄化装置による浄化の状況

- 1号機放水路の浄化装置は、2月10日11時までに14180m³の溜まり水を処理。
- 装置は、設計どおりの性能を発揮しており、溜まり水濃度は、浄化装置運転開始後に上流側、下流側ともに低下。

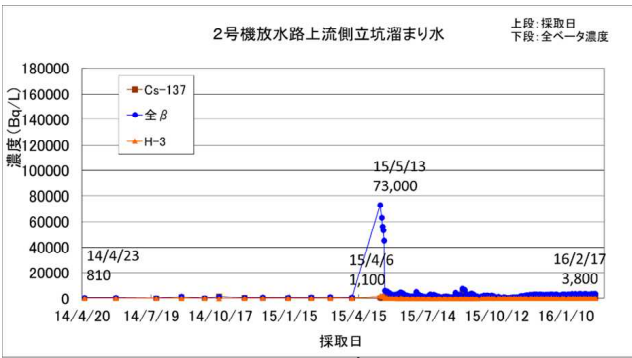


東京電力

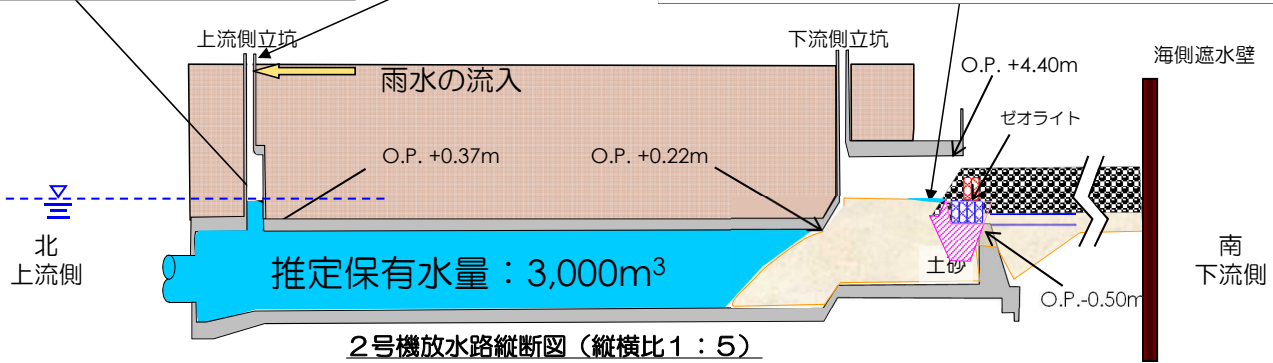
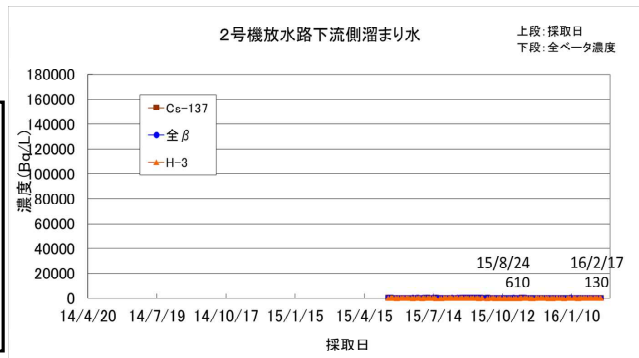
無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

2号機放水路サンプリング結果

- 2号機放水路上流側立坑の溜まり水の全ベータ濃度は、横這い状態で推移。昨年5月のような急上昇はみられていない。
- 下流側（放水口）の濃度も低濃度で、上昇は見られない。

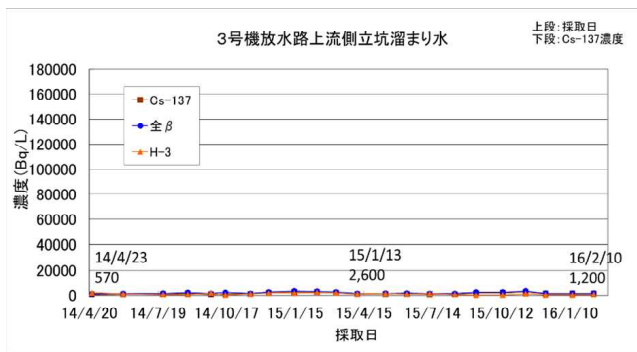


2号機上流側立坑南側流入水
(3号T/Bビル-ドレ)
・T/B東側地表)
調査日：15/5/19
Cs134：1,500
Cs137：5,700
全β：7,700
H3：ND(110)
(単位：Bq/L)



3号機放水路サンプリング結果

- 3号機放水路上流側立坑溜まり水のセシウム濃度は、降雨により若干の上下はあるものの、1,000～2,000Bq/L程度で推移。
- 引き続きモニタリングを継続する。



3号機上流側立坑流入水
(3号S/Bビル-ドレ)・T/B東側地表)
調査日：14/6/12
Cs134：1,400
Cs137：4,100
全β：4,800
H3：ND(9.4)
(単位：Bq/L)

3号機下流側立坑流入水
(4号T/B建屋周辺雨水)
調査日：14/6/12
Cs134：1,000
Cs137：2,800
全β：3,900
H3：13
(単位：Bq/L)

